

經濟水道委員會

說明資料

平成29年3月15日
觀光文化交流局

目 次

	頁
1 平成29年度予算における重点取組方針と主な取組内容	1
2 なごや観光ルートバス「メーグル」の停留所間の所要時間	2
3 ランス市との姉妹都市提携に向けた交流事業	3
4 主な政令指定都市における自治体が関与する無料公衆無線LANの 設置状況	4
5 中部国際空港の開港当初の目標値と利用状況の推移	5
6 国際留学生会館の利用状況の推移	6
7 名古屋市公館の利用状況の推移	7
8 空見地区における大規模展示場整備にかかる市長と知事のこれまでの やり取り	9
9 空見地区における大規模展示場整備に関する県との調整状況	10
10 市長・当局との空見地区における大規模展示場整備にかかる委員会に 向けた調整	11
11 空見地区における大規模展示場整備にかかる東邦瓦斯株式会社の土地 利用に関する見解	11
12 空見地区における大規模展示場整備にかかる港湾計画の変更及び臨港 地区の分区の変更に関する手順	12
13 平成29年3月7日の本会議での代表質問に対する市長答弁と知事の 抗議内容	13
14 平成29年3月7日の本会議での空見地区における大規模展示場整備に 関する代表質問及び市長答弁	14

15	平成29年3月13日の定例知事記者会見での空見地区における 大規模展示場整備に関する知事の発言	19
16	新たな文化施策推進体制	25
17	揚輝荘の保存・活用	25
18	公会堂の改修工事	27
19	文化小劇場の天井等落下防止対策工事	28
20	金シャチ横丁構想の経緯等	29
21	株式会社日本総合研究所による名古屋城天守閣木造復元に伴う名古屋市 入場者数予測結果の評価	30

(添付資料)

名古屋城天守閣木造復元事業に伴う名古屋市入場者数予測結果の評価業務
報告書

1 平成29年度予算における重点取組方針と主な取組内容

(1) 重点取組方針

東京オリンピック・パラリンピックやリニア中央新幹線の開業などを控え、より名古屋の魅力を戦略的・一体的に発信するとともに、歴史や文化を活かした魅力の向上を図り、観光客やMICEの誘致などにより、国内外のさらなる交流を促進する

(2) 主な取組内容

区 分	主な取組内容
<p>(方針1) 戦略的・統一的な都市魅力の向上・発信</p> <p>(趣旨) 戦略に基づき、都市魅力の向上発信の柱に名古屋城を位置づけ、官民が連携し、市民自らが名古屋を推奨したくなるまちを目指す</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公式PRソングの募集・制作 ・名古屋城を核とした魅力向上推進事業 ・スポーツを活かした魅力の発信 ・コスプレの聖地化に向けた研究・社会実験 ・地域の資源を活かした魅力の発信 ・魅力向上・発信の担い手づくりの推進
<p>(方針2) 歴史拠点を結ぶ面的観光資源の整備</p> <p>(趣旨) 名古屋城のエンターテインメント性を向上させ、より多くの来場者を誘致するとともに、観光街道や歴史街道などにより名古屋城、熱田、有松、桶狭間などを結び、面的な観光資源の整備に取り組む</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史観光の推進 ・伝統的建造物群保存地区保存事業 ・尾張なごや歴史のみちの推進 ・揚輝荘北園の整備に向けた調査 ・名古屋城における民間事業者と連携した城内イベント
<p>(方針3) 多様な交流の更なる促進</p> <p>(趣旨) MICE施設の整備をすすめ、MICE誘致の取り組みを強化するとともに、姉妹都市における観光プロモーションや文化が身近に感じられる取り組み、おもてなしの充実を図る取り組みを実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなか観光案内所の開設 ・ランス市との姉妹都市提携に向けた交流事業 ・インバウンド誘致の強化 ・愛知・名古屋展示会研究事業 ・国際展示場コンベンション施設整備に関する調査 ・空見地区における大規模展示場整備に関する調査 ・新たな文化施策推進体制の検討

2 なごや観光ルートバス「メーグル」の停留所間の所要時間

停 留 所 名	所要時間
名古屋駅	8分
トヨタ産業技術記念館	4分
ノリタケの森	10分
名古屋城	14分
徳川園・徳川美術館・蓬左文庫	7分
文化のみち二葉館	5分
市政資料館南	4分
名古屋テレビ塔	4分
広小路栄	4分
広小路伏見	10分
名古屋城	11分
ノリタケの森	4分
トヨタ産業技術記念館	7分
名古屋駅	

3 ランス市との姉妹都市提携に向けた交流事業

(1) ランス市の人口

182,592人

注 フランス国立統計経済研究所の資料（2016年）による

(2) 姉妹都市提携に向けた経緯

区 分	内 容
平成25年 6月	ランス市から画家藤田嗣治をきっかけとした姉妹都市提携の申し入れ
平成25年10月	名古屋市美術館とランス美術館の友好提携に関する覚書を締結
平成26年10月	ランス市副市長が来名
平成26年10月	市公式代表団及び市会公式代表団がランス市を訪問し、名古屋市長より「姉妹都市提携を見据えた協議を始めてまいりたい」旨を表明
平成27年 7月	ランス市長が来名し「姉妹都市提携に向け話をしたい」旨を表明（食の交流としてレセプションでシャンパンとなごやめしを提供）
平成28年 4月 ～ 7月	生誕130年記念 藤田嗣治展（名古屋市美術館）
平成28年10月	ランス市副市長が来名
平成28年10月	将来的な姉妹都市提携に向け、交流を促進することを求める請願採択

(3) 協議中の交流分野

観光、文化、歴史、教育、食、スポーツ

4 主な政令指定都市における自治体が関与する無料公衆無線LANの設置状況

区 分	名 称	アクセス ポイント数	主な設置場所	開始時期
名古屋市	NAGOYA Free Wi-Fi	1,787	観光案内所、観光施設、飲食店、宿泊施設、商業施設、地下鉄駅、なごや観光ルートバス「メーグル」車内等	平成27年 7月
札幌市	Sapporo City Wi-Fi	229	観光施設、地下鉄駅、温泉街等	平成27年 10月
京都市	KYOTO Wi-Fi	約1,900	観光案内所、観光施設、飲食店、宿泊施設、商業施設、地下鉄駅、バス停等	平成24年 8月
大阪市 (大阪府)	Osaka Free Wi-Fi	5,265	観光案内所、観光施設、飲食店、宿泊施設、商業施設、地下鉄駅等	平成26年 1月
神戸市	KOBE Free Wi-Fi	346	観光案内所、観光施設、飲食店、商業施設等	平成26年 7月
福岡市	Fukuoka City Wi-Fi	476	観光案内所、観光施設、飲食店、商業施設、地下鉄駅等	平成24年 4月

注1 平成29年1月末現在

2 大阪市単独の集計はないため、大阪府の値を記載

5 中部国際空港の開港当初の目標値と利用状況の推移

(1) 開港当初の目標値

区 分		平成18年度	平成21年度
旅客数	国際線	530万人	610万人
	国内線	670万人	720万人
	計	1,200万人	1,330万人
貨物取扱量	国際線	30万トン	50万トン

注 中部国際空港株式会社「セントレアグループ中期経営戦略の策定について(2006-2009年度)」(平成18年5月)による

(2) 利用状況の推移

区 分		平成26年	平成27年	平成28年
旅客数	国際線	448万人	469万人	519万人
	国内線	539万人	549万人	565万人
	計	988万人	1,018万人	1,085万人
貨物取扱量	国際線	1.6万トン	1.7万トン	1.6万トン

注 単位未満を切り捨てしたため、計は一致しない場合がある

6 国際留学生会館の利用状況の推移

(1) 稼働率

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
入居部屋数	87室	88室	87室
入居率	96.7%	97.8%	96.7%

注1 各年度12月末時点

2 部屋数は单身室80室、夫婦室10室

(2) 入居者数

(単位：人)

区 分		平成26年度	平成27年度	平成28年度
国立 大学	名古屋大学	23	22	20
	名古屋工業大学	2	—	1
	愛知教育大学	1	2	—
県立 大学	愛知県立大学	22	25	22
市立 大学	名古屋市立大学	1	2	1
私立 大学	市内	31	29	27
	市外	9	9	16
留学生配偶者		5	5	6
計		94	94	93

注1 各年度12月末時点

2 留学生配偶者は夫婦室に入居する留学生の配偶者

7 名古屋市公館の利用状況の推移

(1) 部屋別利用状況

区 分	平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	利用日数	稼働率	利用日数	稼働率	利用日数	稼働率
	日	%	日	%	日	%
レセプション ホー ル	112	44.8	121	48.0	113	53.8
特別会議室	58	23.2	56	22.2	53	25.2
小会議室	103	41.2	95	37.7	87	41.4
大会議室	59	23.6	49	19.4	39	18.6
貴賓室	7	2.8	5	2.0	9	4.3
応接室	22	8.8	21	8.3	19	9.0
和 室	16	6.4	13	5.2	18	8.6
年間稼働日	250		252		210	

注 平成28年度は平成29年1月末現在

(2) 局別利用状況

(単位：室)

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
会計室	—	—	—
防災危機管理局		2	3
市長室	179	112	25
総務局	14	54	49
財政局	4	3	1
市民経済局	46	29	3
観光文化交流局			108
環境局	12	18	10
健康福祉局	33	32	23
子ども青少年局	21	9	12
住宅都市局	32	15	9
緑政土木局	29	20	30
上下水道局	36	7	7
交通局	4	3	8
病院局	—	—	3
消防局	13	14	6
農業委員会事務局	4	12	11
選挙管理委員会事務局	6	4	4
監査事務局	—	—	—
人事委員会事務局	—	—	—
教育委員会事務局	16	24	10
市会事務局	22	24	8
計	471	382	330

注1 行事等で利用した会議室等の室数

2 平成28年度は平成29年1月末現在

8 空見地区における大規模展示場整備にかかる市長と知事のこれまでのやり取り

区 分	内 容	連絡方法
平成28年 1月27日	知事に対し空見ふ頭での連携を呼びかけた	面談
2月 1日	知事に対し県市共同で空見での事業化を要請し、知事から、市が主張することについては止めない旨の回答を得た	面談
2月 2日	2月3日の記者会見において、県・市の整備計画をそれぞれ発表することを確認（2月3日に県市それぞれが記者会見で発表）	面談
5月10日	知事に対し、空見における展示場整備をオリンピック後とする旨、及び県の展示会事業を市が応援する旨を説明し、了承を得た	面談
平成29年 1月30日	知事に対し、愛知・名古屋MICE懇談会の会場内で、空見の調査費について予算計上する旨を伝え、知事より、調査はしっかりやってくれとの回答を得た	面談
2月 1日	知事より、空見の調査費の予算案に対し、反対する旨の連絡を受け、知事に対し、市として調査は行う旨を回答した	電話
3月 8日	市長の本会議答弁に対する知事からの抗議を受け、答弁に至った経緯を説明した。また、15万㎡での県市協力について、あらためて呼びかけた	電話

9 空見地区における大規模展示場整備に関する県との調整状況

区 分	内 容
平成28年 1月 5日	副知事に対し、口頭で適地が見つかった旨を伝達
1月 7日	副知事に対し、市の構想の概略を説明
1月27日	副知事より、県の調査概要説明。県市の案を比較した上で、副知事に対し、調整の必要性を提案
2月 5日	2月3日の県知事の記者会見を受け、県担当課に、県の見解を確認しつつ、市の意向を説明
2月23日	県担当課に対し、空見の土地にかかる県の懸念に対する市の考え方を説明
4月11日	県担当課に対し、県市の新たな連携策（空港島・金城・空見の協力関係）について提案
	県振興部長に対し、県市連携策を提案
	県振興部長より、現時点では提案への対応が困難である旨の連絡
6月14日	県担当課に対し、県市連携策について再開したい旨を打診
7月 5日	
9月 5日	県担当課に対し、空見の調査費を検討している旨を説明
12月13日	
平成29年 1月31日	1月30日の市長と知事の面談を受け、県担当課に対し、空見の調査費の計上について説明
2月22日	2月15日の知事の記者会見を受け、県担当課に対し、空見の土地の土壌について説明
3月11日	東海テレビの報道を受け、県担当課に対し、県の試算について確認

10 市長・当局との空見地区における大規模展示場整備にかかる委員会に向けた調整

区 分	内 容
平成29年 1月 8日	空見地区における大規模展示場整備に関する調査にかかる予算の計上について考え方を整理
1月13日	空見地区における大規模展示場整備に必要な工期等を総合的に考慮し、予算要求に向け調整
2月 2日	知事から市長に対し、空見地区における大規模展示場整備について反対する旨を電話にて伝えられ、調査費の考え方について改めて整理
2月12日	空見地区における大規模展示場整備にかかる県との連携方針について相談
2月15日	知事が記者会見にて、空見地区における大規模展示場整備について反対する旨の意見を表明したことを受け、調査費の考え方について再度確認
3月12日	東海テレビの報道を受けて内容確認及び対応を協議

11 空見地区における大規模展示場整備にかかる東邦瓦斯株式会社の土地利用に関する見解

愛知県と名古屋市がよく話をしていただいた上で、当地域の発展に寄与するものであれば、可能な範囲で協力する

1.2 空見地区における大規模展示場整備にかかる港湾計画の変更及び臨港地区の分区の変更に関する手順

(1) 変更が必要な理由

臨港地区に指定された区域内では、展示場整備にあたり分区を工業港区から商港区への変更が必要なため

(2) 手続きの流れ

区 分	内 容	主 体
準 備 調 査	<ul style="list-style-type: none"> ・交通計画その他課題調査 ・整備概要の検討 	本 市
事 前 調 整	<ul style="list-style-type: none"> ・施策実施において必要な国、県、名古屋港管理組合との協議 ・周辺立地企業と事前協議 	
事 前 協 議	<ul style="list-style-type: none"> ・港湾計画及び分区変更に関する関係者協議 	名古屋港管理組合
名古屋港管理組合議会	<ul style="list-style-type: none"> ・港湾管理者が港湾計画変更手続き等について予定案件として報告（議決必要なし） 	
名古屋港審議会専門部会	<ul style="list-style-type: none"> ・港湾管理者が名古屋港審議会専門部会に港湾計画の土地利用計画の軽易な変更を諮問 ・過半数で議決 ・答申 	
名古屋港審議会	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋港審議会に分区の変更を諮問 ・過半数で議決 ・答申 	
大臣送付・公示	<ul style="list-style-type: none"> ・港湾管理者が国土交通大臣に送付 	

13 平成29年3月7日の本会議での代表質問に対する市長答弁と知事の抗議内容

区 分	自由民主党 成田議員	日本共産党 田口議員
本会議 質問主旨	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模展示場整備について、県の理解を得て連携していくことが不可欠だと思うがどう考えているか ・展示場が県内に2つ整備されることは二重行政ととられかねないのではないのか 	<ul style="list-style-type: none"> ・県との調整がつかず、空見における展示場整備が見通せない中での調査費計上は予算計上の前提を欠いた独断的なやり方ではないか ・県市が施設を競い合って建設することは利用者を奪い合うことになり、過大な需要を当て込んだ過大な投資になるのではないのか
市長 答弁主旨	<ul style="list-style-type: none"> ・空見の事は県に何度も相談し、仲良くやっていこうと申し上げている ・知事とは去年来、丁寧に話をしており、協力してやっていこうというところ。二重行政ではない ・県と市が協力し合って日本一の展示場をつくりマーケットを世界に広げるため、空見ふ頭における調査費を計上している 	<ul style="list-style-type: none"> ・知事とは1年以上、事あるごとに空見の話をし、調査やってちょうよ、ということだった。その後、知事から土地や駅のことを言われたが、それだからこそ調査をさせてほしい、ということ ・新幹線で来た人が行きやすい展示場をつくらなければいけない
知事の 抗議内容	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧に話をしている、協力してやっていこう、というのは事実と異なる ・市が空見の構想を発表した際に場所、アクセス、用途規制等について指摘したが、その後市からの回答はない 	<ul style="list-style-type: none"> ・29年度の調査予算について、私が調査をやってちょうよと言った事実はない。そう主張するのであれば、証拠を示さなければいけない

14 平成29年3月7日の本会議での空見地区における大規模展示場整備に関する代表質問及び市長答弁

(1) 自由民主党代表質問

発言者	発言内容
成田議員	<p>次に、空見地区における大規模展示場整備について、お伺いします。本市において大規模展示場の整備を実現し、地域の産業を活性化していくためには、県の理解を得て、連携していくことが不可欠かと思いますが、どうお考えなのでしょうか。愛知県知事は、本市が空見地区における大規模展示場整備に関する調査費を要求したことを受け、課題が多く、事業として成り立たないと発言しており、正直、愛知県の理解が得られていないようにもうつります。展示場が、県内に2つ整備されることとなれば、県・市両首長さんが、主張して来られた、中京都構想をはじめとする、二重行政を徹底的に排除すると言った基本的小お考えを否定するものと取られかねないところでございますが、いかがなのでしょうか。二重行政を解消し、迅速な政策決定によって、国際的な競争に打ち勝つ都市を目指すとして、知事とともに中京都構想の予算までつけて取り組んでこられた市長にお尋ねいたします。</p>
市長	<p>おはようございます。まず第1問ですが、空見地区における大規模展示場のお話で、まとめますと、県との二重行政とならないかということでございますけれども、これは、知事とは去年来、ずっと丁寧に話をつづけておりまして、両方で協力してやってこうということでございます。まずその点でも二重行政になるものではありません。それと、展示場ビジネスというのは、経済原則が働いておりまして、やっぱり競争力のある展示場でないとできないんですね。具体的に言えば、東京のビッグサイト、例えば上海とか。そういうところと、ある展示場業者さんがやって、名古屋伊勢湾地区でやるということ、やっぱり、経済競争力があって、それでやろうという気持ちになってもらえるところでないと、できません。</p> <p>ところで、よく間違えられるのですが、空港と金城でやった場合に、いっぱいではないかと、そういうことを言っとった人もいますが、これは違ってですね、世界中に20万、30万、40万の展示場がいくらでもあるわけですよ。そういうところでやっているものを、県と市と一体となって、そういうことを名古屋でやってくださいよと。例えば工作機械だとか、農産物にまつわる食料品のことなんかで、たくさんありますよ。</p> <p>そういうことで、展示場ビジネスをそもそも大きいマーケットにし</p>

発言者	発言内容
市長	<p>て売り込んでいくと、その努力をしないかん。特に、名古屋というか愛知県というか、ご承知のように、貿易黒字が6兆円もあって、毎年。製造品出荷額は44兆円もあると。こういう産業界の力でこうやって、やっとなるんですけど。その力を落とさないように、よほど努力しないと。</p> <p>非常に具体的に言うと、世界トップのトヨタ自動車の力が大きいんですけど、44兆円と言っても半分は自動車の力ですので。将来、エンジンが変わっていく可能性もあるわけですよ。いろんな大改革が起こっていく。そういうときに中小企業さんの部品メーカーなんかも展示場がそこに来て、世界から。自分の取引先とか新しいイノベーションを努力していく、そういうところを、産業界のために造ってあげないといかんと思います。</p> <p>小さいもの、ビッグサイトと同じようなものを造ってはいは、これは、ビッグサイトに行っちゃいます。なぜか。それは、悪いけど空港島は遠いからですよ。ビッグサイトに行った方がはるかに安い、東京だし。そうなのはいけないので、私は大村知事にも、ちゃんと協力し合って、日本でナンバーワンの展示場を造って、マーケットを世界に広げましょうと。それで、県の役人も市の役人も、みんなでそういうところに営業に行くわけですよ。</p> <p>そういう目標でございますので、そのために調査費を、今、空見のを計上しているということでございますので、二重行政ではまったくありません、これは。ということをおし上げておきます。</p>
成田議員	<p>それでは再質問に移りたいと思います。先ほど、二重行政にはならんという事、それからビジネスチャンスでもある、それはよくわかりますが、県と連携していくという事は本当なのかなと、そういうことを、疑念を持ったわけでありまして。聞くところによると、昨日も、大村県知事の記者会見の席で、市長の事を尋ねられても、どことなくそっけないものだったと伺っております。大村知事との関係は良くないのか、夫婦別居生活ではないのかなと、会派内でも、本当に気になるところでありまして、私はこれに、反対しているという、そういう事でもないんですよ。いわゆる二重行政を否定してきた市長さんにおかれては、ちゃんと1月からやっているとおっしゃるんだけれども、端的に聞きますけども、大村さんとの関係は、いかがなんでしょうか。</p>
市長	<p>空見の事については、1年間、記録もありますけども、何べんもこ</p>

発言者	発言内容
市長	<p>ちらから相談しまして、仲ようやっていきましょうと申し上げております。一般論では、男と男で、よく、トム&ジェリーのようなもので、仲良く喧嘩しろと、というような関係でございます。</p>
成田議員	<p>まあこれは、過去に、市長が、選挙も含めて、大村知事とは本当にセットで色々やって来られた、中京都構想、尾張名古屋共和国と、この名古屋圏を取り巻く、様々な権限、財源、そういったものを、独立という言葉まで出されて、市長と県知事はセットになって努めてこられた。しかしながら最近はそのような報道がなされていない。1月からちゃんとやりますということも言っておられますから、まずはしっかり、今回も、2,000万円でしたか、調査が付いておりますし、ソフト面においては、展示場の開催に向けて、様々な誘致と言いますか、働きかけをしていくというそういった予算も、ソフト面でも付いておりますから、まずはしっかりと、市長は知事と、調整をして仲良く、進めていただければと思います。</p>

(2) 日本共産党代表質問

発言者	発言内容
田口議員	<p>巨大ハコモノづくりのもうひとつは、空見ふ頭における大規模展示場の整備であります。来年度予算案に、大規模展示場整備に関する調査費が計上されました。これに対して、大村愛知県知事が、「空見は適地ではない。県と市が一致してやるのでなければ、整備はできない。」と認めない意向を表明したと伝えられています。空見ふ頭での展示場整備には、港湾計画の変更や臨港地区内の分区の変更が必要になります。大規模展示場の予定地は、東邦ガスの所有地ですが、現在は工業港区に指定されているため、分区の変更をしなければ、展示場を建設することができません。分区変更の権限は、名古屋港管理組合にあります。同組合には愛知県も関与しており、県の理解が得られなければ、分区変更はできない。つまり、大規模展示場の整備は不可能なのです。</p> <p>市長、愛知県との調整がついておらず、空見ふ頭での大規模展示場整備の可能性が見通せない中で、調査費を計上するというのは、予算計上の前提を欠いた独断的なやり方ではありませんか。この地域の国際展示場をめぐることは、本市が国際展示場ポートメッセなごやの4万㎡への拡張移転を2021年度の完了を目標に進めています。</p> <p>一方、愛知県は中部国際空港の空港島に2019年秋頃の開業を目</p>

発言者	発言内容
田口議員	<p>指して、6万㎡の大規模展示場の建設に着手しました。そのうえに、本市が空見ふ頭に整備しようとしている大規模展示場は5万㎡とされています。市長は合わせて15万㎡という日本最大の展示面積となり、国際的な大規模展示会の開催ができる、などと言っていますが、はたして、採算が取れるのでしょうか。</p> <p>愛知県が大規模展示場の整備を急いでいるのは、2020年の東京オリンピック・パラリンピックで首都圏の展示場が使えなくなるため、その受け皿としての利用を狙っているからですが、昨年9月から始めた事前予約は低調で、人気薄という報道もあります。オリンピック後には、11万6,000㎡に拡張される東京ビッグサイトなどとの競合にさらされます。愛知県が大規模展示場建設に着手した今、市が類似の施設を競い合って建設することは、利用者を奪い合うことになるのではないのでしょうか。過大な需要を当て込んだ過大な投資になるのではないのでしょうか。市長の答弁を求めます。</p>
市長	<p>空見でございますが、空見は先ほども言いましたように、是非、やっぱり商売を盛り上げるというのは都市にとって大変重要ですから、だから国際競争力のある展示場を造って、世界の展示場ビジネスを呼んでくると。先ほど言いましたように、特に自動車産業の、ガソリンエンジンがモーターなんかに変わるとものすごい色々なものを変えないかんわけですよ。そういうときに大きい展示場があつてそこでみんな商売をやつとる人が新しいイノベーションに挑戦してもらおうと。そういう展示場を造らないとあかんじゃないですか。ということでございまして、過大な投資というのは全く逆でございまして、今のままではお客さんが来やせんがやと言つとったじゃないですか。お客さんが来んやつをそのままにしておくほどひどいことはありませんわ。税の無駄遣い。それより大きいのを造って世界からお客さんをとってくる。それから、展示場へ行きやすいと。新幹線で。来た人が。こういうのを造らないとはやれせんじゃないですか、ということでございます。</p>
田口議員	<p>市長に再質問したいのはですね、一点目は大規模展示場の整備についてです。私二点質問したんですけれども、一点目についてお答えがありませんでした。一点目の質問というのはですね、県との調整がついていない、そういう中では臨港地区内の分区の見直しなどができない。そうすると、空見ふ頭で名古屋市が大規模展示場を造ることはできないんじゃないんですかと。県との調整がつかないままでは、そう</p>

発言者	発言内容
田口議員	<p>いうもとで調査費を計上したのは独断的じゃないですか、と私は聞いたんですけど、お答えがありませんでしたので、その点まず答えてください。</p>
市長	<p>大村知事とはもう1年以上、事あるごとに色々空見のことも話してきました、この話もまあ調査やってちょうよ、ということだったんです。だけど色々それからは何かありましたけど、それだからこそいっぺんと。土地がどうの駅ができるかとか色々言ってみえたんでね、だからそれならそれで、それだからこそ調査させてくださいよ、ということでごさいます、別に矛盾はしておりません。</p>
田口議員	<p>大村県知事はですね、名古屋市が予算案に調査費を計上したあと、それについて、今のままではできないよと、こう言っているわけですよ。だから本来でいえば、まずこの大規模展示場の是非は別にして、本来の手続きでいえば、愛知県と調整をしたうえで、調査費を出すということならまだわかります。手続きとして。愛知県と決裂して出してきた。そこが問題じゃないかということを行っているわけです。この点についてはまた委員会のほうでもしっかりと議論していただきたいと思います。</p> <p>で、展示場についてはですね、言いたいことは他にもありますが、ひとつだけ意見を申し上げておきたいと思います。今、国際展示場3つの整備が進んでいます。莫大なお金がかかります。ポートメッセなごやの拡張移転では、330億円余りの概算額が示されており、加えてコンベンション施設の建設費などがかかります。空港島の県の国際展示場は、建設費が340億円余りで、竹中工務店が受けました。加えて用地取得費がかかります。空見ふ頭の大規模展示場については、まだ概算額は当然示されておりませんが、稲永ふ頭における調査と同様の単価で試算をすると、500億円はくだらないと思います。あおなみ線に新駅を築造することになれば、さらに20億円から30億円かかる。この3つの国際展示場の整備に要する費用は、縣市合わせて1,200億円を優に超えるでしょう。そういう時に県と市が何の調整もせず張り合っ事を進めるといことは大変問題だということをおし上げておきたいと思います。</p>

15 平成29年3月13日の定例知事記者会見での空見地区における大規模展示場整備に関する知事の発言

発言者	発言内容
知事	<p>定例会見の発表事項は一点でございますが、その前に一言私から発言を申し上げたいと思います。名古屋市会における空見地区大規模展示場についての市長の発言について、抗議を申し上げたいということでございます。3月7日、先週ですね、名古屋市議会におきまして、空見地区における大規模展示場についての代表質問が行われましたが、その際の河村市長の答弁内容につきまして、事実と異なる部分がありましたので、ここで正確なことを申し上げますとともに嚴重に抗議をいたします。</p> <p>大きくは二点であります。まずは、共産党田口議員への答弁で、29年度の調査予算について、私が調査をやってちょうよと言ったと市長は答弁をしておりますが、そういう事実は全くありません。</p> <p>私が市長から29年度に調査を考えているということを知ったのは、今年の1月30日、東京でMICE懇談会での立食パーティ、立ち話。二人で、彼はふらふらと寄ってきて、ぼそぼそと私の耳元に囁いたということでございまして、その際、私は、本当にそんなことやるのかと、お前やめとけよと言ってぼそと返したということはありません。</p> <p>その後2月1日に河村さんには空見にはできないということを直接電話で連絡をし、明確に否定をいたしております。その後、2月15日、名古屋市の予算の発表と合わせて、記者会見でも、私が明確にそれはできないと否定をさせていただいたということは皆さんご案内のとおり。この県政記者クラブの皆さんの前で記者会見をさせていただいたということでございます。</p> <p>したがって、やって良いと私が言ったという事実はありませんので、改めて、否定をしておきます。もし仮に、市長が、そう主張されるなら、一般社会の常識でありますけれども、証拠を示して主張をしないといけません。ただ単に自分がそう思った、思っただけでですね、発言するというのは、一般社会、ましてや公人としては許されるものではありません。猛省を促すとともにですね、嚴重に抗議を申し上げたいというふうに思っております。</p> <p>またもう一点、自民党成田議員への答弁で、昨年来、丁寧に話をしており、協力してやっていこうということになっており、という点であります。そもそも昨年2月3日、市が空見の構想を発表した際に、空見という場所、アクセス、用途規制など、数々の問題を県から指摘をいたしましたが、その後、市から一切の回答はありません。従って、丁寧に話を</p>

発言者	発言内容
知事	<p>している、協力してやっていこうということを答弁されておりますが、事実と異なります。これが二点目であります。</p> <p>以上、市議会での市長の答弁は非常に重い発言でありますから、そこで事実と異なる答弁をされたということは、私としては容認できません。即刻、代表質問の翌日、3月8日の昼、市長に電話で嚴重に抗議をいたしました。改めてこの場で嚴重に抗議をするものであります。以上です。</p> <p>(その他の発表事項等について発言)</p>
記者	<p>冒頭の河村市長の話ですけれど、3月8日にどう言ってどう返事があったのですか。</p>
知事	<p>3月7日の市議会での答弁でありましたから、3月8日の昼、昼飯時ですね、昼時。12時20分か30分くらいだったと思いますが、昼時に電話でつないで、昨日の本会議での答弁は事実とは異なる、いかなののではないかということをおね、今日申し上げたことをしっかりと申し上げさせていただきました、ということでございます。</p>
記者	<p>返事は。</p>
知事	<p>返事は特にそれは、ここで申し上げたように、そういうことを言うのであれば、私が言っていないということ言うのであれば、普通は一般社会では証拠を出さなきゃいけないわねと言ったら、テープなんかとってないしなあ。そらないわなあ、もともと行ってないからなあ、というような話がありました。色々喋ったあと、最後は、まあそんなことよりも、とにかく1.5万㎡で一緒にやってこまいとか言うから、いや、そういう問題ではないということをおね、申し上げたということでもあります。</p>
記者	<p>私が2年半くらい前に赴任したころテレビで村・村コンビという呼び名がありましたが、今、村・村コンビと呼ばれることに対してどうでしょうか。うれしいとか違和感を感じるのかそういうことはありますか。</p>
知事	<p>特にそれはありません。皆さん色々、記者さんだから色々筆が立つので、色んなストーリーを作られて書かれるのは得意ですし、何を書かれてもこの世界は自由なので、色々書かれるなあと思って見ております。</p>

発言者	発言内容
知 事	<p>れども、この展示場の件は申し上げますけれども、政治の話ではありません。行政実務の話でありますから、誰がやっても誰がどういうふうによっても、できないものはできないという行政実務の話ということは、僕は最初から申し上げていると思うんですね。それ以上でも以下でもありませんので、どういうふうにストーリーを作られるか、それはご勝手ですけれども、そういうことではないということだけは申し上げておきたい。</p> <p>それでも書かれるんだろうけど、皆さんね。まったく関係ありません、河村さんとの友情とかそういったものが変わることはありません。</p> <p>ただこれは行政実務の話なので。私は2月15日も申し上げて、今日も申し上げましたがね、ひとつは、これは県の許認可権限に関わることでありますから、それはできない。できないものはできない。5年、10年、20年経ってもできないものはできないということを申し上げたい、申し上げております、それが一点。</p> <p>それから東邦ガスさんは県と市が一致しなければ貸さない、私も何度も確認しておりますが、土地は貸さないということを確認いたしておりますから、それもできないということではないでしょうか。</p> <p>他にも、ちょうど1年前の2月に、私どもが県の方から空見ふ頭はこんな色んな問題があるけど良いかというような話、工業地帯であり、周りは倉庫、工場だということ。それからまた、金城ふ頭、それから空見ふ頭は物流の拠点だしね。もう大型トラックがぼんぼん走る。自動車と機械の輸出の拠点な訳ですよ、金城ふ頭はね。そういったところで大型集客をするようなところになるのかねということ。それからそこにはね、高圧ガス導管が残り、無線鉄塔が残り、ガスの圧力調整器というのも残る。それから当然でありますけれども、いま豊洲等々で言われている土壌汚染の問題もね、これも懸念されると。それが完全に払拭されるというのであれば、それはもうだって全部調べなければわからないのでね。そんなことも懸念されるし。</p> <p>駅もない、駅造ってね。当然あの目の前の道路は6車線で、トラックがびゅんびゅん、6車線だよねあれ、知らないか。3車線・3車線か4車線・4車線だったかと思いますが、トラックびゅんびゅん走ってね、そういうことならデッキも造らないかん、いくらかかるんだねというような話をね、言ったけれども、それについてのお答えは今日までないということですから、私は、ここは相応しい場所ではないということと2月15日に申し上げた訳でありまして、そういった諸々のことを含め、最終的に毎回申し上げますが、許認可権限が私どもにあるということ、</p>

発言者	発言内容
知事	<p>土地を東邦ガスは貸さないということにありますから、できないということですから、それは行政実務であるということをお願いしたいというふうに思っております。そういう中で、名古屋市議会で、事実と異なる答弁をされたので、これは極めて遺憾だと思っております。名古屋市議会での発言は重いと申しますよ、公人として。私はこの点については、猛省を促したいということと、嚴重に抗議をしたいと思っております。以上です。</p>
記者	<p>名古屋市長選への対応に何か変化はありますか。</p>
知事	<p>ありません。コメントはありません。私がこう言うと、今言った、あなたが今言った河村さんとの関係がどうのこうのとか何とか、そういうストーリー、サイドストーリーを作った、補強して、どうせ書かれるんだろうと。事実と違うけど何書いたって自由だしな、あなた方、ということですね。という意味ですから。やめてね、そういうのを書くのは。</p>
記者	<p>河村市長は答弁の中でもう一つ、空港島は遠いと、ビッグサイトへみんな行っちゃうんじゃないかと、県の計画に非常に否定的な発言もされていますけれども、これについて知事はどうお考えですか。県全体の経済発展を考えると極めてエゴ的な発言だと思うんですけども知事はいかがお考えでしょうか。</p>
知事	<p>そんなことは別に言わなくてもみんなわかっていると思っておりますので言いませんが、その点も事実と異なりますので申し上げたい、明確に申し上げたいと思っております。</p> <p>空港島へのアクセスは、名鉄・高速、いずれも30分で行けるという場所にありますから金城ふ頭と何らそんな色はないというふうに申し上げたいというふうに思っております。それが事実でありますから、そのように言われるというのは、我々県がやっている仕事に対して、そういう否定的な、ネガティブな発言をされるというのは、何を根拠にされるのか、極めて不愉快と言わざるを得ないです。じゃあ、我々が名古屋市のやっている仕事を、こういうふうに評価する、こんなものなんだと言って良いのかと。そういうことは言いませんよ。言わないよ。それは礼儀じゃないですかね、普通の。これも社会人としての常識だというふうに私は思います。ですから事実と違うということをお願いしたいというふうに思っております。関係者はみんなわかっていますよ。関係者はみんなわ</p>

発言者	発言内容
知事	かっていますが、そういうふうに聞かれば、それはやはり事実と違うということを申し上げたいと思います。
記者	空見の名古屋市の事業について、県でも独自に総事業費はこれくらいかかるんじゃないかという想定を作られているようですが。
知事	そういうことはありません。
記者	市長選の話が出たんですけれども、告示まで1か月という中でこういったことも出てきたんですけれども、市長選へのスタンスなど、どのように臨まれるか教えてください。
知事	特にコメントはありません。
記者	河村市長に抗議されたということなんですが、今後引き続き、例えば翻意を促すとか説得の場を持つようなお考えなり予定は今のところおありなんでしょうか。
知事	それはわかりません、今後のことは。ここで明確に申し上げるということ、一つ大きな抗議ではないかというふうに思っております。必要であれば、また考えたいと思います。別に先々のことを組み立てて考えてやっている訳ではありませんので。まずは、先週河村さんには抗議を申し上げたということと、やはりそのことは、市が本会議で答弁されたということなので、そこは明確にしておいた方が良いと思いましたので、今日この記者会見の場でですね、申し上げていると。事実を申し上げているということなのでそれ以上でも以下でもないということなので、引き続き必要があれば、事実を申し上げていきたい。事実を申し上げていきたいというふうに思っております。人間ですから誰が何を言おうが、日本は世の中自由だけでも、事実というのは一つですからね。それが違うというのであればそれは証拠を示していただかないといけない。それでもって、私は2月15日に記者会見してるんですよ、できないと言って。その後、3月7日に名古屋市議会の本会議で、知事は調査をやってちょうよと言ったと言っているんですよ、名古屋市議会本会議で。何を根拠にそう言われたのか。言う方が証明しないといけないでしょうそれ。私が言うんですかそれ。違うでしょうそれ。私2月15日に記者会見で、できませんと、できないんですというふうに言っているんですよ。それ

発言者	発言内容
知 事	<p>が、違うと言うならば何があったのか、何が違うのか、実は大村こう言ってるんだ、こういうこと言うんだったらそれは証拠を示して言われなきゃいけないんじゃないですか。それは、私は社会人として最低限のルールだと思いますよ。何言ったって自由にはならないんですよ。ましてや市議会ですよ、議会ですよ、本会議ですよ。私は事実を、だから必要であれば事実をこれからも申し上げていきたいというふうに思います。事実以上のことを申し上げるつもりはありませんが、事実ははっきりと申し上げていかなければいけない。それが私の使命だと、それが私の責任だというふうに思っております。</p>

1.6 新たな文化施策推進体制

(1) 内容

- ・文化力を様々な社会課題に活用することを目的として、観光、産業、まちづくり等、他分野と連携して取り組む文化芸術活動への助成、企画支援、評価のほか、調査研究等総合的に推進する体制（名古屋版アーツカウンシル）の設置を目指す
- ・体制は、学識経験者や文化政策に精通する者等を中心として構成

(2) 活用例

- ・文化芸術活動と他分野とのコーディネート
- ・新進芸術家等の活動に対する企画から実施までの一体的な支援
- ・市内外の機関と連携した文化芸術活動の調査研究

1.7 揚輝荘の保存・活用

(1) 北園の整備に向けた調査

区分	内容
目的	揚輝荘北園の伴華楼の修復整備に向けて、建物の現況調査等を行う
調査	<ul style="list-style-type: none">・現況調査、現況図作成・改変前図作成・耐震性の基礎検討・概算整備費の算出

(2) 岸和田市五風荘の活用事例

区 分	内 容
施設名称	五風荘
所在地	大阪府岸和田市岸城町18番1号
施設概要	<p>旧岸和田城内に大阪の実業家寺田利吉^{りきち}が昭和4年から10年かけて造った邸宅</p> <p>回遊式日本庭園、主屋、蔵、茶室などがあり、市指定文化財</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敷地面積：約8,000㎡ ・主 屋：木造・地下1階地上2階／延床面積 約930㎡ ・ 蔵 : RC造・地上2階 /延床面積 約140㎡
管理運営	<p>指定管理者 がんこフードサービス株式会社</p> <p>主な募集条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財としての管理 ・食文化の発信拠点としての活用 ・指定管理期間は、平成21年度から平成30年度まで <p>現在の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主屋、蔵を和食レストランとして活用 ・周辺に飲食店が少なく、大規模な隣接駐車場もあることから、利用は好調 ・施設の管理も、良好に行われている

18 公会堂の改修工事

(1) 耐震診断の結果 (第2次診断法)

区 分	I s 値	C _{TU} ・SD値
4 階	1. 3 3	1. 3 7
3 階	0. 8 5	0. 8 8
2 階	0. 5 5	0. 5 7
1 階	0. 4 9	0. 6 3
地下1階	0. 5 4	0. 5 6

注 公会堂各階の I s 値 (構造耐震指標) 及び C_{TU}・SD 値 (累積強度指標・形状指標)

(2) 構造体耐久性調査の結果

残存耐用年数は20年程度以上

(3) 改修費の予算額内訳

(単位: 千円)

区 分	金 額
建 築 工 事	2, 1 5 0, 0 0 0
電 気 設 備 工 事	1, 5 6 2, 0 0 0
機 械 設 備 工 事	1, 1 8 8, 0 0 0
計	4, 9 0 0, 0 0 0

19 文化小劇場の天井等落下防止対策工事

区 分	面 積	天 井 高	工 期
中村文化小劇場	259m ²	11.10m	10か月
南文化小劇場	274m ²	10.45m	10か月
西文化小劇場	219m ²	10.90m	10か月

注 天井高は最大値

音響面 天井複雑

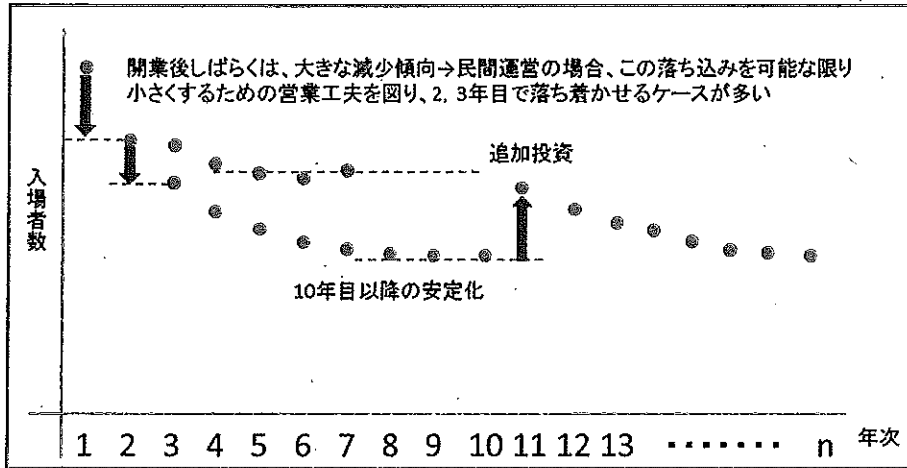
20 金シャチ横丁構想の経緯等

区 分	内 容
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ・有識者懇談会の開催（4回） ・「世界の金シャチ横丁（仮称）基本構想」策定
平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> ・社会実験（まるはち博覧祭） ・ネーミングの公募、決定
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> ・社会実験（楽しみん祭）
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・第一期整備事業提案の公募開始
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・第一期整備事業者の決定 <ul style="list-style-type: none"> 代表法人：株式会社新東通信 MULプロパティ株式会社 構成法人：日本プロパティマネジメント株式会社 有限会社デザインクラブEMW 名鉄協商株式会社 ・支障物件移設等工事 ・第一期整備事業者と実施協定締結 ・第一期整備事業者による整備工事着手
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・第一期整備事業者による整備工事完了 ・「金シャチ横丁」の商標登録 ・第一期開業（平成30年3月）

2.1 株式会社日本総合研究所による名古屋城天守閣木造復元に伴う名古屋市入場者数予測結果の評価

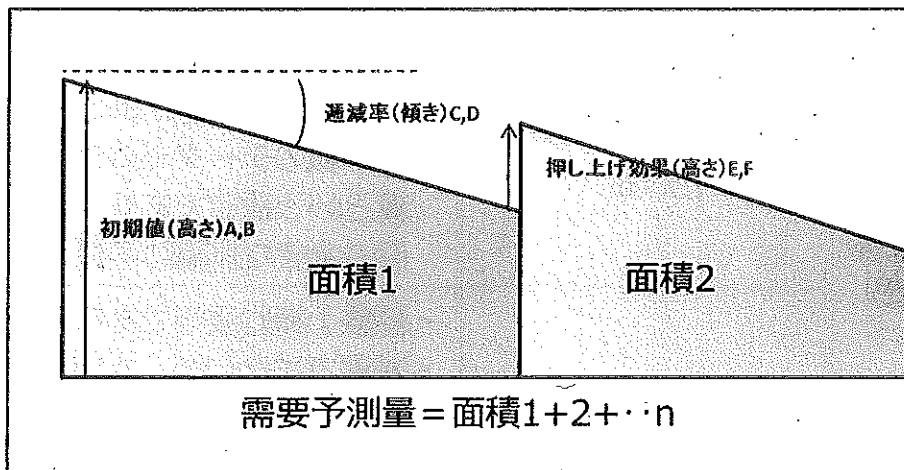
(1) 需要予測の基本的な考え方

集客施設の需要予測は、一般的に、①初期値（開業初年度）、②魅力低下による2年目以降の逓減率、③追加投資（魅力向上）による底上げ、④魅力低下による逓減率、といったループ構造を設定していくこととなる



(2) 考え方の構造化

入場者数見込み（需要予測）の算出・推計とは、下図の面積の積和となる



(3) 評価結果

ア 総括

名古屋市の入場者数予測についての考え方は概ね妥当であり、日本総研が独自に試算する場合も、類似事例として、熊本城、姫路城のデータを使用することになる

イ 詳細

区分	本市の考え方	評価
初期値 (高さ)	初期値として平成29年度以降203万人としている (平成33年度まで)	<ul style="list-style-type: none"> 実績ベースでの増加率を平成27年度数値に乗じたものが初期値となっており、概ね妥当である
	木造天守閣のオープン直前の初期値を162万人としている (平成34年度)	<ul style="list-style-type: none"> 細かな評価は必要であるが、減少要因をきちんと算入しており、概ね妥当である 162万人という初期値は平成26年度実績程度であり現実味があるものである
通減率 (傾き)	オープン後の通減率を平成35年度から平均で毎年1割減で3割減とおいている	<ul style="list-style-type: none"> 算出方法としては、概ね妥当であるが、熊本の平成23年度は桜馬場彩苑公開効果が含まれている可能性があるため、より検討の余地がある 熊本城のデータでの3年間で約30%減という設定であり、オープン後2年目の大きな削減は考慮されていない
	3割減した後は安定期に入ると想定している	<ul style="list-style-type: none"> 経験上概ね妥当である 城郭ではないが、水族館の場合、初年度の入場者数はバブルであるとの判断で2年目(初年度の約7割)を初期値とすると、3年目からはほぼ安定する傾向がある
押し上げ効果 (高さ)	木造天守閣のオープン効果の押し上げ率を3.1倍としている	<ul style="list-style-type: none"> 3.1倍は姫路城のオープン前年のデータであり、概ね妥当である ただし、姫路城の工事前の駆け込みのないデータを使用すると2.4倍となる

(4) 平成38年度の入場者数の試算

ア 本市の試算

区分	前提条件	平成38年度 の入場者数
逓減率	オープン初年を100%とした場合、 ・オープン2年目：初年の10%減 ・オープン3年目：2年目の10%減 ・オープン4年目：3年目の10%減 ・5年目以降安定期に入ると算定	366万人
押し上げ 効果	姫路城の実績より ・平成26年度：92万人（竣工前年） ・平成27年度：287万人（天守閣竣工） ・押し上げ効果を約3.1倍と算定	

イ 株式会社日本総合研究所の試算

区分	前提条件	平成38年度 の入場者数
試算1 (逓減率)	熊本城の実績より、オープン初年を100%とした場合、 ・オープン2年目：初年の23%減 ・オープン3年目：2年目の16%減 ・オープン4年目：3年目の10%増 ・5年目以降安定期に入ると算定	358万人
試算2 (逓減率)	日本総研のコンサル実績より、オープン初年を100%とした場合、 ・オープン2年目：30%減 ・3年目以降安定期に入ると算定	351万人
試算3 (押し上げ 効果)	姫路城の実績より ・平成20年度：120万人（駆け込み需要前） ・平成27年度：287万人（天守閣竣工） 押し上げ効果を約2.4倍と算出	359万人
試算4	試算1の逓減率と試算3の押し上げ効果を合わせた場合	350万人
試算5	試算2の逓減率と試算3の押し上げ効果を合わせた場合	345万人

(5) 平成38年度以降平成83年度までの長期予測

- 予
算
の
注
文
書
に
付
き
- ・将来人口予測から見ると日本人来場者数は漸減していく可能性はある
 - ・外国人来場者数は増加する可能性はある
 - ・総じて長期予測は今後予測不能なPEST（政治、経済、社会、技術）によって左右される
 - ・とはいえ、漸減トレンドを設定しておくことが現実的ではないかと思われる
 - ・一方で、名古屋城の場合はレゴランドの開業やリニア中央新幹線の開通など入場者数を押し上げる可能性がある個別要因があり、総合的な判断が必要となる
 - ・これら個別要因を名古屋城入場者数増加のためのチャンスととらえ、新たな観光ルート開発や旅行商品化など創意工夫することで入場者数押し上げにつなげることが肝要である
 - ・他の集客施設の長期トレンドの分析では、公設公営形態のものは漸減傾向が長期化する傾向にあるのに対し、民設民営形態のものは、安定化も早く定期的な押し上げ策（追加投資等）による食い止めの結果が現れている。本件においても、大阪城パークマネジメント事業のように、可能な限り民間運営の裁量を多く持たせることにより、時宜を得た投資と入場者数の押し上げを期待するものである